

〈海外短信〉

交流の拠点—現代の倭館

金 京 一 *

対馬釜山事務所は、2003年5月12日に韓国内で対馬の情報を発信する窓口として開所しました。正式には、財団法人対馬国際交流協会の釜山事務所になりますが、ほとんど対馬市役所の出先機関としての役割を果たしています。

事務所は、釜山タワーがある龍頭山公園の北側に位置しており、この周辺は江戸時代に日本と朝鮮の間で外交や貿易などを担当した「倭館」があったところです。倭館は15世紀から朝鮮にあった日本人居留地であり、龍頭山公園の周辺は「草梁倭館」として最後の倭館があった場所です。昔から韓日間をつなげてきた対馬の役割を担うことを目指して事務所の場所を決めたわけです。

事務所職員は、所長が対馬市役所の観光物産推進本部の副本部長職との兼務のため、通常は私と辛恩京(シン・ウンギョン)さんの二人が常駐しています。

「現代の倭館」とも言える対馬釜山事務所の主な役割として、韓国内で対馬をPRすること、多くの観光客が対馬に行くことができるようにサポートすること、各種交流と対馬の留学生への支援、長崎県内のほかの団体への協力などが挙げられます。

まず、対馬PRは事務所の韓国語版ホームページと、観光パンフレットの送付、そして年4回メールマガジン「対馬・長崎便り」を送り、オン・オフラインで対馬の情報発信をしています。近年は旅行のパターンも変わってきて、旅行社を通さずに個人で準備して旅したいというニーズが増えてきています。年間ホームページのアクセスは28,000回以上に上り、1,800件あまりの問合せに答えて、8,000部以上のパンフレットを個人や団体に送っています。

様々な交流のサポーターの役割としては、対馬市が行う行政交流やイベント交流、民間交流などの際に連絡調整、通訳、翻訳を担当しております。

まず、行政交流ですが、対馬市は釜山の影島区とは姉妹縁組を結んでいて、毎年、行政交流セミナーを実施し、両地域の行政業務について発表し、いい所は見習うという場を設けています。そして、慶尚南道の蔚山広域市蔚州郡とは文化交流協力に関する意向書を交わしており、お互いの地域を訪問しております。

次に、イベント交流では、対馬の3大国際交流イベントに協力しています。「国境マラソンIN対馬」は、釜山の環境マラソン大会と慶州の桜マラソン大会と姉妹縁組を結んでおり、お互いの大会に参加しております。「厳原港まつり対馬アリラン祭」は、釜山の社団法人朝鮮通信使文化事業会との交流を通じて、朝鮮通信使の正使、副使や舞踊団、楽団を招待したり、釜山での通信使行列再現に参

* 対馬釜山事務所副所長

加したりしています。「対馬ちんぐ音楽祭」は韓日のミュージシャンが参加するコンサートを通して日韓交流を図っています。

そして、民間交流としては、ラグビー交流試合や写真家交流、書道交流などがあります。

事務所はこのようなあらゆる交流の場の間につなぐ、行事や交流がスムーズに進むように頑張っています。

このほかに事務所は、対馬から釜山の大学へ留学している学生のお世話や長崎県庁、観光連盟、長崎県内のほかの地域の交流の際にもお手伝いをしています。

対馬は「国境の島」であり、歴史的に朝鮮と日本が交わる「交流の島」としての役割を果たしてきました。私は、この誇るべき歴史から学び、対馬が再び交流の島として花を咲かせ、島が潤うことを使命として頑張っていこうと思います。